

しつけや育て方のせいではなく、

子育てに配慮や工夫が必要なお子さんがいます。

同じ失敗を繰り返したり、どうしても気になる行動がなおらない場合、しかるだけでなく、なぜそんな失敗をしてしまうのか、考えてみましょう。一番困っているのは、お子さん自身かも知れません。

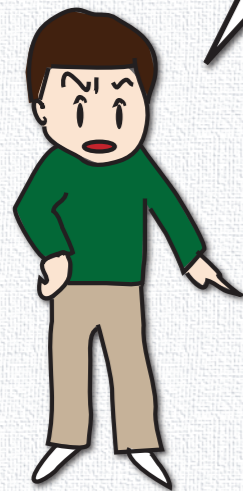
子どもは、一人ひとり違います。誰にでも苦手なことはあります。

苦手なことがあって困っているお子さんには、その「苦手さ」に早く気付いて、カバーする方法を教えることが大切です。

それはちょっとした工夫かも。でも、早いうちにその工夫をすることで、お子さんが大きく変わることもよくあります。子育ても楽になりますね。

そうすれば、その子の「いいところ」がたくさんわかってくるかも知れません。

何度言ったらわかるんだ!?  
だらしない!



一生懸命やってるのに・・・

ぼくってダメなのかなあ・・・  
もうどうでもいいや



気づいてあげられるのは、おとうさんやおかあさんが最初かも・・・

どうしてそんなことができないの!



こうすると失敗しないよ  
うまくいくよ



**Positive!**  
苦手なこともあるけど、  
がんばろう!



よくやってるじゃないの



親が甘やかすから!



このままだと・・・

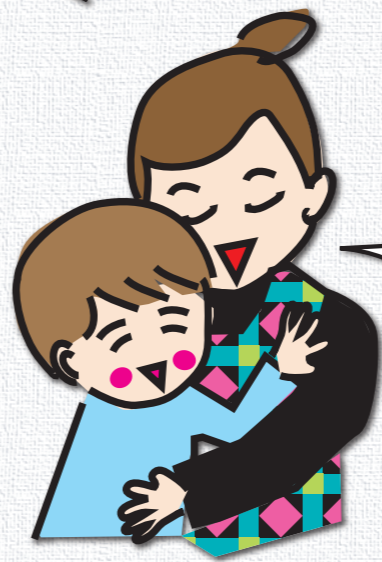
- 自信喪失
- 人間不信
- いじめ
- 孤立

大きくなると・・・

- 不登校
- ひきこもり
- 非行

などの原因に...

そこがいいところだね



そうか・・・  
それがいやだったんだね

理解され、支えられれば

- 安心
- 自信
- 意欲
- 自己肯定感
- 家族や他人への信頼

が生まれます。

